

令和 2 年度子どもの貧困対策庁内検討会議 開催報告

1 開催概要

(1) 開催日時

令和 2 年 11 月 6 日 13:30～15:10

(2) 会議出席者

こども未来部長	男女共同参画課長
福祉総務課長	こども家庭課長
保育課長	健康増進課長
雇用政策課長	住環境政策課長
各区健康福祉課長（一部補佐）	各区保護課長
教育委員会学務課長	教育委員会保健給食課長
教育委員会地域教育推進課長	教育委員会学校支援課長補佐
こども政策課長（事務局）	

(3) 議題

- ① 子どもの貧困対策に関する大綱の改正について
- ② 令和元年度関連事業実施状況について
- ③ 令和 2 年度新規事業および新型コロナ関連事業について
- ④ 子どもの貧困対策に対する各課の課題等について

2 主な意見（議題④について）

福祉総務課	生活困窮者の自立相談支援事業は、コロナ禍で相談件数が約 3 倍に増えており、相談員を増員して対応。今後も相談員の増を予定。
こども政策課	貧困対策としてこども食堂への支援を実施。昨年度末時点で 29 施設が開設しているが、新型コロナウイルスの影響により半数近くが運営できていないため、活動の再開や継続にかかる経費について 1 か所あたり 15 万円を上限に補助している。
こども家庭課	ひとり親世帯の支援が非常に大きな課題だと認識している。そのため、就労支援や児童扶養手当などの様々な給付金、貸付等の事業を実施。また、国の給付金に加え、新潟市独自の 3 万円支給や生活応援事業として新米を送る取組を実施している。
健康増進課	乳幼児歯科健診を休止していたが、6 月から再開。離乳食講習会も中止していたが、注視した日を電話相談の日とするなどでフォロー。
雇用政策課	国の交付金を活用し、新型コロナの影響による離職者を雇った企業に奨励金を出す事業を実施している。
東区健康福祉課	こども食堂は子どもの貧困だけでなく、孤食の解消という側面もあるが、“こども食堂”の名称が逆に行きにくいという意見もある。
中央区保護課	学習支援の教室はほぼ満員だが、ここに来られない、本当に支援が必要な子をどうケアするかが課題と認識。